



すてっぴ

2016年度
10月号
桃李小学部

神無月（かんなづき）は、旧暦（きよれき）で十月（じゅうがつ）のこと。かみなづき「かみなづき」とも言（い）います。

十月（じゅうがつ）は全国（ぜんこく）の八百万（やっぴゃくまん）の神様（かみさま）が一部（いちぶ）の神様（かみさま）を残（のこ）して出雲大社（いずみだいしゃ）へ会議（かいぎ）に出（で）かけてしま（い）うと考（かんが）えられてき（き）ました。そのた（た）め、神様（かみさま）が出（で）かけてしま（い）う国（くに）では神様（かみさま）がい（い）ないので、神無月（かんなづき）とい（い）うわけ（わけ）です。

とこ（ところ）で、みなさん（みなさん）が神様（かみさま）にお願（ねが）いする（する）としたら（したら）、何（なに）をお願（ねが）いしますか（か）。テスト（てすと）で百点（ひゃくてん）が取（と）れますように（ように）、なん（なん）て声（こゑ）が聞（き）こえてき（き）そうです（そうです）ね。でも（でも）ま（ま）ずは自分（じぶん）が努（と）力（りき）を（を）こら（こら）えては（は）、桃李学園（とうりがくえん）で（で）がんば（がんば）る（る）みなさん（みなさん）を神様（かみさま）も（も）し（し）っかり（っかり）見（み）てる（てる）と思（おも）います（います）。勉（べん）強（きやう）の秋（あき）、集（しゅう）中（ちゅう）して（して）が（が）んば（んば）ら（ら）い（い）。



桃李学園はあうちの方と一緒にお子さんの成長を見守ります。



子育てワンポイント



読書はすべての学力の基礎になる!

★本（ほん）がさまざまな世界（せかい）との出（で）会（あ）い（い）を生（な）みます。

幼少時（ようせうじ）に親（おや）から本（ほん）の読（よ）み聞（き）かせ（かせ）を（を）して（して）もら（もら）い、た（た）く（た）さん（さん）の本（ほん）を（を）与（よ）ら（ら）れて（れて）読（よ）書（しよ）習（じゆ）慣（かん）が（が）身（み）につ（つ）き（き）ま（ま）す。

読（よ）書（しよ）で（で）視（し）野（や）が（が）広（ひろ）がり、好（こう）奇（き）心（しん）が（が）強（つよ）まり、親（おや）から言（い）わ（わ）れ（れ）な（な）く（く）も（も）勉（べん）強（きやう）する（する）の（の）が（が）当（あた）り（り）前（まへ）に（に）な（な）ります。

★ど（ど）れ（れ）だ（だ）け（け）活（か）字（じ）に（に）触（ふ）れ（れ）た（た）か（か）が（が）一（いっ）生（せい）を（を）左（ひだり）右（みぎ）し（し）ま（ま）す。

「本（ほん）は（は）ふ（ふ）ん（ん）だ（だ）ん（ん）に（に）買（か）っ（つ）て（て）もら（もら）えた（えた）」 「親（おや）が（が）切（き）れ（れ）目（め）な（な）く（く）図（ず）書（しよ）館（かん）から（から）本（ほん）を（を）か（か）り（り）て（て）き（き）て（て）く（く）れた（れた）」

「い（い）つ（つ）も（も）家（か）に（に）は（は）本（ほん）が（が）い（い）つ（つ）ぱ（ぱ）い（い）あ（あ）っ（つ）て（て）、読（よ）書（しよ）する（する）環（かん）境（きやう）が（が）あ（あ）っ（つ）た（た）」

読（よ）書（しよ）で（で）好（こう）奇（き）心（しん）や（や）読（よ）解（かい）力（りき）、集（しゅう）中（ちゅう）力（りき）が（が）や（や）し（し）な（な）わ（わ）れ（れ）ると、自（じ）主（しゆ）的（てき）に（に）勉（べん）強（きやう）する（する）よ（よ）う（う）に（に）な（な）ります。



ここだけ すどワザ



読書習慣をつけるのはこれが大切!

図書館からおすすめの本を借りてくる。興味を持った百科事典や鉄道雑誌や歴史雑誌などを与えてみる。そして何より、親が自ら読書する姿を見せるなどして、自分自身を見本にさせることが重要です。